

目次

はじめに	vii
1章 はじめましょう	1
1.1 CGIの歴史	1
1.2 CGIとは	3
1.3 代替テクノロジー	9
1.4 Webサーバの設定	12
2章 HTTP (Hypertext Transfer Protocol)	19
2.1 URL	20
2.2 HTTP	26
2.3 ブラウザリクエスト	30
2.4 サーバレスポンス	38
2.5 プロキシ	43
2.6 コンテンツネゴシエーション	45
2.7 概要	48
3章 CGI (Common Gateway Interface)	49
3.1 CGI環境	50
3.2 環境変数	52
3.3 CGIの出力	58

3.4	コード例	69
4章	フォームとCGI	75
4.1	サーバへのデータ送信	76
4.2	フォーム関係のタグ	78
4.3	フォーム入力の変換	93
5章	CGI.pm	97
5.1	概要	98
5.2	CGI.pmでの入力処理	103
5.3	CGI.pmでの出力生成	118
5.4	出力生成の代替手段	128
5.5	エラー処理	133
6章	HTMLテンプレート	141
6.1	なぜテンプレートを使うのか	141
6.2	SSI (Server Side Include)	143
6.3	HTML::Template	154
6.4	Embperl	163
6.5	Mason	187
7章	JavaScript	191
7.1	背景	192
7.2	フォーム	193
7.3	データ交換	205
7.4	Bookmarklet	217
8章	セキュリティ	225
8.1	Webセキュリティの重要性	226
8.2	ユーザ入力の処理	227
8.3	暗号化	237
8.4	Perlの汚染モード	239
8.5	データのアクセス	244
8.6	まとめ	246

9章	電子メールの送信	247
9.1	セキュリティ	247
9.2	電子メールアドレス	249
9.3	インターネット電子メールの構造	255
9.4	sendmail	256
9.5	mailx と mail	261
9.6	Perl メーラ	261
9.7	procmail	263
10章	データの保存	267
10.1	テキストファイル	268
10.2	DBM ファイル	277
10.3	SQL の概要	282
10.4	DBI	286
11章	ステートの保持	305
11.1	クエリ文字列とパス情報	308
11.2	隠しフィールド	315
11.3	クライアントサイドのクッキー	329
12章	Webサーバ内の検索	337
12.1	単純な検索	337
12.2	単純な検索 (その2)	341
12.3	逆引きインデックス検索	346
13章	グラフィックの動的な生成	359
13.1	ファイルフォーマット	360
13.2	画像データの出力	362
13.3	GD で PNG を生成する	366
13.4	その他の GD モジュール	371
13.5	PerlMagick	381
14章	ミドルウェアとXML	389
14.1	ほかのサーバとの通信	390

14.2	XMLの概要	394
14.3	DTD (文書型定義)	397
14.4	XMLパーサを開発する	398
14.5	XMLミドルウェアへのCGIゲートウェイ	400
15章	CGIアプリケーションのデバッグ	409
15.1	一般的なエラー	409
15.2	Perlでのコーディングのコツ	413
15.3	デバッグツール	421
16章	優れたCGIアプリケーションを作成するために	429
16.1	アーキテクチャに関するガイドライン	429
16.2	コーディングに関するガイドライン	437
17章	効率と最適化	441
17.1	10のPerl Tips	442
17.2	FastCGI	452
17.3	mod_perl	455
付録 A	引用文献および参考文献	461
A1	参考文献	461
A2	補足資料	463
A3	RFC	463
A4	その他の仕様	464
A5	プロジェクトのホームページ	465
A6	ニュースグループ	465
付録 B	Perlモジュール	467
B1	CPAN	467
B2	perldoc	469
付録 C	日本語の取り扱いに関する注意点	471
C1	Content-Typeの指定	472
C2	perlコードのエンコーディング	473

C3 Jcode.pm	473
C4 メール送信	474
索引	477